
不注意

ekaki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不注意

【Nコード】

N9776A

【作者名】

ekaki

【あらすじ】

歩きながらのタバコ、読書、携帯などは、危険ですよ。

（前書き）

ええ、記念すべき第一作目になります。
馬鹿みたいな物ですが、読んで頂けたら嬉しいです。

「ねえねえ、洋子、これ見てよこれ」

親友の友美が話しかけてきた。

「何よ。・・・てゆうかあんだ、新聞読みながら歩くの止めてよ。恥ずかしいわ。」

「いつもうるさいわねえ、あんたは。いいじゃない、別に。」

と、友美は口を尖らせた。こうなったら、何を言っても無駄だと、洋子は分かっていた。

「・・・ちゃんと前見なさいよ。」

「うんうん。で、これなんだけどさあ。」と、友美はまた話を戻し、新聞の1面を洋子に見えるように持ち変えた。

「・・・ドライバーの不注意で交通事故。六人が死亡・・・か。恐いわねえ。」

「ね、しかもドライバーの不注意で、よ？もう被害者は最悪よね。」と、友美は溜め息をついた。

「・・・で、話はこれだけ？」

洋子は友美に尋ねた。

「え？いや、これもこれも！」

「まだあるの」

洋子は大きな溜め息をついた。

「何よお？今ここで新聞を読んだら、何かいい事あるかもしれないじゃない。」

また友美が口を尖らせた。

「例えば？」

「え？あ？う、うんと・・・あ！社会のテストの時事問題に出るかもしれないわよ！」

「テストは明日よ。もう問題なんて作り終わってるわよ。」

洋子が呆れたような声で言い返す。

「あう・・・。」

「じゃ、もういいわね？」

「・・・うゝ、いいもん、洋子なんて知らない！」

友美はふてくされて、また一人、黙って新聞を読み始めた。

「友美、さっきも言ったけど、ちゃんと前を見てね。」

「・・・。」

無駄だと思いつつ声をかけてみたが、やはり効果はなかった。

しかし洋子はもうこんな事にはなれていた。どうせ、昼休みには友美は機嫌が直っていて、二人屋上で弁当を食べる事が分かっていたから。

別に、今謝らなくてもいい。二人にとって喧嘩なんて物は日常茶飯事の・・・

ブーオン！

「！友美、危ないわよ。あつちからトラックが来てる。」

洋子は少し気付くのが遅れたが、反対方面から、トラックがかなりのスピードでこちらに迫ってきている事に気が付いた。

「・・・。」

声をかけたが、友美は答えない。

本当に新聞に熱中しているらしく、耳にはいつていないらしい。

「友美。」

再度洋子が声をかける。

トラックがかなり近付いてきた。

「友美、トラックが来てるわ。」

友美は反応しない。

トラックはもう目と鼻の先まで・・・。

「友・・・駄目だわね。」

「え？洋子、な」

グシャグチャベコガシャーン！！

友美は側にあつた電柱とトラックにサンドイッチにされ、原型を留めていなかった。

洋子がグチャグチャになった友美に近寄り、苦笑いした。

「分かった？不注意してるところなるのよ。」

友美は答えない。

「何よ、まだシカトするの？分かったわよ、新聞読めばいいんでしよう？」

と、洋子は足元に落ちていた友美の右手首を拾いあげて、新聞を外した。「借りていくわよ。昼休み、いつもの所でまってるからね。」
そう言つて微笑み、洋子は通学路を歩いていった。

（後書き）

このような下らない、そして下手糞な小説を読んで頂き、ありがとうございます。

かなり適当に作った部分もあるので、何かかなるストーリーに無理がある作品なっってしまった……。

この作品のジャンル等を聞かれても、正直「ん……」と言う感じでしたが、一応ホラーに入れておきました。

本格的にホラーを書かれている方々、こんな下らない物を「ホラー」のジャンルにいれてしまい、申し訳ありません。

最後に、読んで下さった方々、これからもよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9776a/>

不注意

2011年1月23日00時42分発行